

調停人候補者等養成研修（調停技法 基礎編）効果測定

以下の設問の指示に従い、解答用紙に記号で答えよ。

問題 1 対話促進型調停の定義について以下の記述のうち誤っているものを選び記号で答えよ。

- ア 当事者同士は直接会わずに調停人を介して話し合う方法である。
- イ 当事者は相互の主張や見解を理解し、それを調整することで事件の解決を試みる。
- ウ 当事者は自由意思で話し合いを実施する。
- エ 調停人は当事者の話し合いをより実効的なものにするために手助けをする。

問題 2 対話促進型調停の特徴について以下の記述のうち誤っているものを選び記号で答えよ。

- ア 非指示性（調停人の）
- イ 自発性（当事者の）
- ウ 非評価性／黒白を付けない
- エ 公開性

問題 3 以下の文章は「法化社会」を説明したものであるが、誤った内容を含む箇所を一つ選び記号で答えよ。

人々が法律をよく理解し、日常的にも権利と義務を意識し、法を基準に物事を判断し、
㊦
行動するような社会を指す。紛争の発生においても、その解決を習慣や伝統、あるいは
㊩
個人的な価値観をもととして、法規範に従って解決することが望ましいと大半の人が考
㊧
え、またそうするための法律や施設が整備されているような社会状態を意味する。
㊥

問題 4 以下の文章は「反法化の意見」を説明したものであるが、誤った内容を含む箇所を一つ選び記号で答えよ。

紛争を当事者の個人的問題と捉え、当事者が問題意識を回避することによって最も望ま
㊦
しい解決が得られるという考え方である。その根底には極度に機械化され、組織化され
㊩
た現代社会では、裁判も普遍性を求めすぎ、かえって儀式化し、規格化してしまったと
㊧
いう意識が潜む。そのような裁判からは真に当事者のためになる解決は得られないとい
㊥
う意見である。

- 問題 5 紛争の解決方法について、以下の記述のうち適切でないものを選び記号で答えよ。
- ア 公正と思われる手段で決着をつける。
 - イ 当事者が納得する方法で解決する。
 - ウ 問題を融合的に解決する。
 - エ 双方の社会的地位等を考慮し、双方に妥協を要請して解決する。
- 問題 6 対話促進型調停の特徴について以下の記述のうち適切でないものを選び記号で答えよ。
- ア 手軽
 - イ 迅速
 - ウ 廉価
 - エ 法化的
- 問題 7 調停理論の用語の説明として誤っている組み合わせを選び記号で答えよ。
- ア (用語) 交換理論
(説明) 当事者が欲しいものを手に入れるために差し出してもよいと考える所有物を交換し解決を図る。
 - イ (用語) 統合理論
(説明) どちらの当事者も何かをあきらめ、話し合いの開始時のポジションから見ると中立的な地点に位置する解決案の提示によって解決を図る。
 - ウ (用語) トランスフォーマティブ理論
(説明) 当事者が調停を通じて個人として自尊心を持ち、関係性の大切さを理解し、成長するという変容によって解決を図る。
 - エ (用語) ナラティブ理論
(説明) 全て言葉によって構築された事象から差異は発生し、その事実によって当事者の理解を促すことで相互に納得できる状況・理解の新たな構築を目指すことによって解決を図る。
- 問題 8 法的臨床としての調停に臨む姿勢として以下の記述のうち適切でないものを選び記号で答えよ。
- ア 当事者と距離をおくこと
 - イ 当事者を条件づけずに肯定すること
 - ウ 話や事情を歪曲して考えないこと
 - エ 問題と感情を区別すること
- 問題 9 調停のプロセスについて以下の記述のうち誤っているものを選び記号で答えよ。
- ア 解決の方向付けの前に状況の把握を行う。
 - イ 解決の方向付けを行ってからブレイン・ストーミングを行う。
 - ウ 合意書の作成に入る前に解決原案をまとめる。
 - エ プロセスは前の段階に戻ってはいけない。

- 問題 10 調停人が状況の把握で気を付けることについて以下の記述のうち適切でないものを選び記号で答えよ。
- ア 一方当事者の話に引き込まれないように気を付ける。
 - イ 当事者の感情の起伏、怒りの度合い、誤解などをつかむように聴く。
 - ウ イシューを言葉にする時は簡潔で中立的な表現になるように心がける。
 - エ 全体像の把握のため、必要な事柄以外についても積極的に訊くようにする。
- 問題 11 用語の説明として誤っている組み合わせを選び記号で答えよ。
- ア (用語) オープン・エンディッド・クエスチョン
(説明) 話し相手にイエスやノーではなく、描写や説明を求めるタイプの質問
 - イ (用語) クローズド・クエスチョン
(説明) 話し相手にイエスやノーで答えることを求めるタイプの質問
 - ウ (用語) サマライジング
(説明) 相手が語った事柄を、調停人が言い換えること
 - エ (用語) リフレイミング
(説明) 相手が語った事柄を、調停人が解釈し、別の言葉や表現で言い換えること
- 問題 12 リフレイミングについて以下の記述のうち適切でないものを選び記号で答えよ。
- ア 調停の言い換えは、心理学のフレイミング効果を土台にしている。
 - イ ほとんどオウム返しの、無意識に行われるパラフレイジングと同様に、リフレイミングには調停人の意図は反映させないようにする。
 - ウ 否定的な言い方、内容を肯定的に変える。
 - エ 相手に対する批判・攻撃を話し手の怒りや悲しみに言い換える。
- 問題 13 イシューについての記述①～③について誤った記述がされているものの個数を選び記号で答えよ。
- ①争っている事柄、争いの原因、問題点、当事者の心中に引っかかったまま、収まらない感情などを意味する言葉です。
- ②一つの争いにイシューは単一ではなく複数存在すると考えます。その理由は、紛争とは見知った相手との間に起こるものであり、ならば当事者同士の接点、つまり問題点は複数あるはずだと考えられるからです。
- ③イシューが複数あると、何から始めるか考えなければならず、調停人にとっては調停がやりにくくなるといえます。
- ア 0個
 - イ 1個
 - ウ 2個
 - エ 3個

- 問題 14 イシューについて以下の記述のうち適切でないものを選び記号で答えよ。
- ア イシューが大切な理由として「問題点を明らかにすること」が挙げられる。
 - イ イシューが大切な理由として「紛争を細分化し、取り組みやすくすること」が挙げられる。
 - ウ イシューを作る際に気を付けることとして「両当事者が受け入れやすい言い方にすること」が挙げられる。
 - エ イシューが複数ある場合には、難しいイシューから取り組むとよい。

- 問題 15 ポジションについての記述①～③について誤った記述がされているものの個数を選び記号で答えよ。

①相手に対する自身の優位性を意味する言葉です。

②通常、当事者が考える争いの解決案として口にされることが多く、こうなってほしいという願いでもあります。

③ポジションは話し合いの進行によって変わることがないので、ポジションに焦点を当てて話し合うことが基本となっています。

- ア 0個
- イ 1個
- ウ 2個
- エ 3個

- 問題 16 ニーズについての記述①～③について誤った記述がされているものの個数を選び記号で答えよ。

①当事者に特定のポジションを取らせる理由です。

②要求や主張の裏に隠れる争いの本当の原因を指しています。

③ニーズは話し合いの進行によって変わり、そのため、ニーズに焦点を当てて話し合うと、かえって混乱することがあります。

- ア 0個
- イ 1個
- ウ 2個
- エ 3個

- 問題 17 コーカスについて以下の記述のうち適切でないものを選び記号で答えよ。

ア 当事者双方のコーカスの時間を等しくすること

イ 当事者からの希望でコーカスを開くべきではない。

ウ コーカスで話されたことは秘密として取り扱い、話した当事者の事前の了解がない限り他言はしない。

エ 当事者の様子が不自然なときはコーカスを開くタイミングである。

- 問題 18 合意書作成について以下の記述のうち誤っているものを選び記号で答えよ。
- ア 合意書作成前にイシューごとに合意した原案を書き出す。
 - イ 合意書作成前には改めて合意の確認をする。
 - ウ 合意書作成は表現の適切さと言ひ回しに気を付ける。
 - エ リアリティチェックは問題を蒸し返す恐れもあるため、行わない方がよい。
- 問題 19 合意書作成について以下の記述のうち正しいものを選び記号で答えよ。
- ア 調停人が印鑑を持ち合わせていなかったため、捺印ではなくサインをした。
 - イ 合意後のアクションについては合意内容とは別のものなので合意書には記載しないほうがよい。
 - ウ 合意書の記載内容として「当事者の氏名」が挙げられるが住所まで記載する必要はない。
 - エ 合意書の目的のひとつに「犯罪の立証」が挙げられる。
- 問題 20 反復の意義について以下の記述のうち適切でないものを選び記号で答えよ。
- ア 聴いていることを当事者に知らせる
 - イ 当事者の使った言葉の意味、数字などを確認する
 - ウ 一方当事者が語ったことを他方の当事者に伝える
 - エ 当事者の緊張感をより高める効果がある